

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	えんでこ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者や家族のニーズ、課題等を職員全員で共有した上で個別支援計画書を作成し、それに基づいた支援を行っている。	利用者の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法等職員間で検討し、共有をした上で支援している。	情報共有をより密に行い、利用者の気持ちやペースを大切に、日々の小さな変化に気づくことを大切にしている。
2	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	○運動療育、レクリエーション等の多様な活動プログラムを提供している。 ○参加する利用者の課題に合わせた内容を取り入れている。 ○活動内容は固定化しないように努力している。	季節感を取り入れ、利用者の課題(身体機能、認知機能など)や興味を両立させた活動を取り入れている。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。	○掃除や整頓等、清潔な環境を常に意識している。 ○死角をなくし全体を見渡している。 ○部屋の温度・湿度に常に気を配っている。	○利用者自ら玩具を片付けられる環境作りを心掛けている。 ○利用者が安心・安全に活動できる環境を提供している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニングや、家族が参加できる研修ができていない。	自事業所での研修会やイベントの開催実施は難しさがある。	家族会など保護者の情報交換の場の設定や外部研修会等の開催案内など、できることから取り組んでいく。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定しているが、全てを保護者に説明しきれていない。	マニュアルすべてを保護者に説明する機会がないため、保護者からの理解を得ていない状態である。	各マニュアルを定期的に見直し、保護者への周知方法を考えていく。
3	地域に関わった事業所運営への周知不足	地域の清掃活動は参加しているが、地域住民への事業所周知までは至っていない。	地域行事に参加することには限りがあるが、地域住民と関わる機会を考えていく。